

北大総合博物館主催

土曜市民セミナー

北大の研究最前線

道民カレッジ連携講座



終末期医療と刑法

—安楽死・尊厳死問題を中心に—

2019

2/9 土

13:30 ~ 15:00

講師 城下 裕二

北海道大学 大学院法学研究科

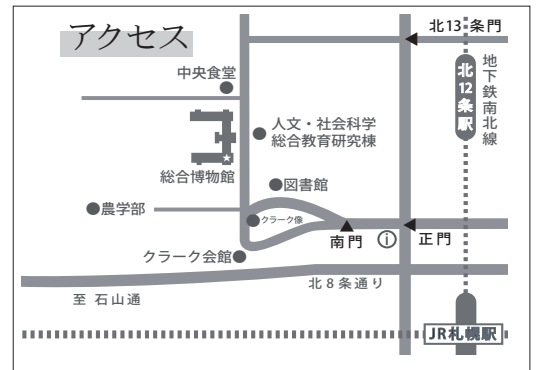
会場 入場無料・申込不要

会場

北海道大学総合博物館 1階
「知の交流」

死期の切迫した患者が苦痛に喘いでいるとき、本人の要求に従って作為的に生命を断ち、「安らかな死」を迎えさせることは許されるでしょうか？ また、人工的な延命治療を受けている患者がいるとき、本人の事前の承諾に基づいて治療を中止し、「自然な死」を迎えさせることは正当でしょうか？

終末期医療の現場で起こりうる、こうした安楽死・尊厳死（治療の中止）といった問題については、医学・看護学・社会学・哲学・倫理学・宗教学など、さまざまな領域において議論が重ねられてきました。今回は、法律学、特に刑法学の視点から、どのような考え方がありうるのか、解決の方向性は見出せるのかを、わが国の裁判例を通じて探ってみたいと思います。



お問合せ



TEL : 011-706-2658

<http://www.museum.hokudai.ac.jp/>